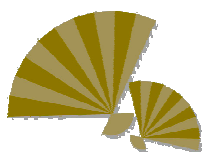


平成22年度

事業報告書

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日



財団法人 地域伝統芸能活用センター

平成 2 2 年度事業報告書

この度の東日本大震災により被災された皆様に対して、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

I. 事業の概要

当財団は、平成 4 年に制定された「地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び特定地域商工業の振興に関する法律」に基づいて、地域の民衆の生活の中で受け継がれ、当該地域の固有の歴史、文化等を色濃く反映した伝統的な芸能及び風俗慣習（以下「地域伝統芸能等」という。）を活用した行事の実施、支援を行うこと等により、観光及び地域商工業の振興を図り、もって、ゆとりある国民生活及び地域の固有の文化等を生かした個性豊かな地域社会の実現、国民経済の健全な発展並びに国際相互理解の増進に寄与することを目的に様々な事業活動を展開している。

平成 2 2 年度は、第 1 9 期事業年度として、下記の事業を実施し、所期の成果を挙げる事ができた。

- ① 地域伝統芸能等を活用した事業の実施
- ② 地域伝統芸能等に係る活動を行う個人又は団体に対する顕彰
- ③ ビジット・ジャパン・キャンペーンに即した海外交流公演行事の実施
- ④ 地域伝統芸能等を活用した行事等に関する情報の収集及び提供
- ⑤ 地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び地域の商工業の振興に関する調査、研究及び広報
- ⑥ 地域伝統芸能等を活用した行事の支援

事業の実施に際しては、観光立国推進基本法に基づく観光立国推進基本計画（平成 1 9 年 6 月閣議決定）において当財団の役割が明記されており、この趣旨に沿って地域の伝統芸能や伝統行事を活用した取り組みを推進した。

II. 事業の実施状況

1. 第18回地域伝統芸能全国フェスティバルにいがた及び第10回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会にいがたの開催

(1)開催概要

全国フェスティバル及び豊かなまちづくり大会は、日本各地に受け継がれてきた伝統芸能等の公演を通じて観光及び地域商工業の振興と伝統芸能の活性化を図ることを目的として毎年開催しているものである。平成22年度は、新潟県新潟市において、当財団と新潟県及び新潟市との主催により、9月25日（土）及び26日（日）の2日間、開催した。

初日の25日には、メイン会場である新潟市産業振興センターにおいて、当財団名誉総裁である高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、開催記念式典と表彰式を挙行し、引き続き、伝統芸能の公演が行われた。同日夕刻には、「出演者交歓の夕べ」を新潟市内のホテルにおいて開催した。新潟市産業振興センターにおいては、地域伝統芸能の公演に併せ、新潟県伝統芸能展、観光展等を開催した。

また、訪日外客数の増加を図る観光庁ビジット・ジャパン・キャンペーン事業により、中国、香港、韓国及び台湾の旅行会社及び観光関係マスコミを招請し、全国大会での伝統芸能の視察等を行った。

この全国フェスティバルは日本財団の助成を、また、豊かなまちづくり大会は財団法人JKAの補助を受けて実施したものである。

概要は、次のとおりである。

- 1) 名称 第18回地域伝統芸能全国フェスティバルにいがた
第10回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会にいがた
愛称 日本の祭り・ふるさと新潟2010
- 2) テーマ 「絆」～震災からの復興 感謝の気持ちを踊りに込めて
- 3) 期間 平成22年9月25日（土）～26日（日）2日間
- 4) 会場 新潟県新潟市

新潟市産業振興センター（メイン会場）

新潟ふるさと村（サブ会場）

- 5) 主催 財団法人地域伝統芸能活用センター、新潟県及び新潟市
- 6) 後援 国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省
総務省、日本政府観光局(JNTO)、NHK
- 7) 助成 日本財団
- 8) 協賛 財団法人JKA
- 9) 出演団体 県外10、県内18、海外3：合計31団体、
出演者数合計 895名
- 10) 来場者数 2万6千3百人（2日間の合計）
内訳：会場入場者 2万5千人 その他の来場者 1千3百人

(2)主な催事内容

1) 地域伝統芸能公演・開催記念式典・表彰式・地域伝統工芸展等

①平成22年9月25日（土）

（メイン会場）新潟市産業振興センター

○開催記念式典・表彰式（13:30～14:15）

開催記念式典・表彰式においては、主催者である当財団中村会長、新潟県泉田知事、新潟市篠田市長の挨拶に続き、ご臨席の高円宮妃殿下からお言葉を賜った。その後、来賓の国土交通省宿利国土交通審議官、経済産業省商務情報政策局富田審議官から祝辞をいただいた。

引き続き、平成22年度 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞及び地域伝統芸能奨励賞の表彰式が6団体・個人を対象に行われ、受賞者には中村会長から表彰状が、高円宮妃殿下から記念メダルが授与された

また、平成16年の新潟県中越大震災により大きな被害を受けた山古志・小千谷の伝統芸能「牛の角突き」の習俗の復興に対する日本財団の支援（当財団を通じて実施）に対して、新潟県泉田知事より日本財団に対して感謝状が贈呈された。

○地域伝統芸能公演（14:30～17:30）

・全国のまつり 7団体・個人

長崎くんち龍踊り（長崎県）、魚津たてもん（富山県）、新居浜太鼓祭り（愛媛県）、アイヌ古式舞踊（北海道）、早池峰神楽（岩手県）、福田廣平（岩手県）、津軽三味線（青森県）

・新潟県のまつり 4団体

新潟万代太鼓、山古志の牛の角突き、綾子舞、新潟甚句

・外国のまつり 3団体

韓国伝統芸能（韓国釜山市）、中国伝統芸能（中国ハルビン市）、ロシア伝統芸能（ロシアハバロフスク市）が出演。

（サブ会場）新潟ふるさと村

○オープニングセレモニー（11:00～11:10）

○地域伝統芸能公演（10:30～15:30）

県外4団体、県内8団体、計12団体が出演。

（市内ホテル）

○出演者交歓の夕べ（19:00～20:15）

地域伝統芸能公演終了後、高円宮妃殿下のご臨席のもと、市内のホテルにおいて「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」、「地域伝統芸能大賞」及び「地域伝統芸能奨励賞」受賞者をはじめ、県内外、海外の出演団体の代表者に多数参加いただいて、「出演者交歓の夕べ」が和やかに開催された。主催者挨拶に続き、来賓の文化庁長官から祝辞をいただいた。アトラクションとして、地元の永島流新潟樽砦などが披露された。

②平成22年9月26日（日）

○地域伝統芸能公演

（メイン会場）新潟市産業振興センター（11:00～16:15）

受賞3団体、県外3団体、県内5団体、海外3団体 計14団

体が出演。

(サブ会場) 新潟ふるさと村 (11:00~16:00)

受賞3団体、県外3団体、県内7団体、海外3団体。計16団体が出演。

2) 「日本の祭り・ふるさと新潟2010」地方実行委員会等による事業

9月25日(土)・26日(日)

○ふれあいコーナー(メイン会場・サブ会場)

○「うまさぎっしり新潟」秋の観光キャンペーンオープニングイベント(メイン会場・サブ会場)

○新潟県伝統工芸展(新潟市産業振興センター)

新潟県内の地域伝統芸能・地元のお祭りに関する資料を展示した。

○観光展(新潟市産業振興センター)

メイン会場のロビーにて、県内外出演団体の地元観光ブースを設置し、来場者に観光案内等のPRを行った。

(3) 事業の成果

我が国の各地に伝わる地域伝統芸能・お祭りが過疎化や高齢化の進行等により存続の危機にある中で、全国各地の優れた地域伝統芸能等が一堂に会して公演し、文化資源としての認識を高め、全国各地域のお祭りへの誘客効果を高めるなどにより、観光及び地域商工業の振興に寄与し、地域の活性化に貢献できたものとする。

・今回の大会は、新潟県中越地震(2004年)、新潟県中越沖地震(2007年)など相次いで大震災に見舞われた新潟県民が、全国各地から寄せられた励ましに対して、「震災からの復興、感謝の気持ちを踊りに込めて」のテーマのもとで全国の地域伝統芸能の公演を通じて復興を実感でき、また、地元の地域伝統芸能の公演を通じて全国に感謝の気持ちを伝える貴重なものとなった。

・来場者からは、「日本各地に色々なお祭りがあることを再発見した」、「日本の伝統芸能の素晴らしさを感じることができた」、「伝統芸能の保存継承への努力が分かった」、「各地の祭りを見て実際に現地に行ってみようと思った」、「新潟県内にも色々な祭りがあることを再発見した」などの感想が寄せられた。

・出演団体からも、「このような復興の象徴となる大会に招待され公演することは極めて名誉なことであり、伝統芸能の技能の向上など地域おこしに貢献する意欲も高まった」、「全国大会で日本の伝統芸能を披露できることは郷土芸能の大切さを理解していただくための良い機会となるので、今後も全国各地で開催してほしい」、「大きな舞台での発表は伝承を志すものにとって大きな力となる」など貴重なご意見をいただいた。

・今回の地域伝統芸能の公演の様子は、NHK による衛星放送番組による全国放映と地元新潟県内での放映、出演団体の地元での報道などによって、地域伝統芸能の楽しさ、素晴らしさを直接鑑賞していただく貴重な機会となった。

・新潟県とゆかりが深く、県内に総領事館を有する韓国、ロシア、中国の芸能団体に出演していただいたことで、新潟県と北東アジアの交流へのさらなる発展へとつながった。

・メイン、サブ両会場とも新潟市内において同日開催された大規模イベント会場と駅とをシャトルバス等により結んだ結果、新潟市内を訪れた観光客の市内移動がスムーズに行われたとともに、渋滞緩和の成果が得られた。

・メイン、サブ両会場で開催した「『うまさぎっしり新潟』秋の観光キャンペーンオープニングイベント」では、多くのグルメが、用意した数量を売り切る実績を挙げ、新潟県のB級グルメを県内外へ発信する良い機会となった。

2. 平成22年度高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞及び地域伝統芸能奨励賞の表彰

我が国各地に伝わる地域伝統芸能等を活用した行事の実施に資するため、当財団では毎年度、「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」、「地域伝統芸能大賞」、「地域伝統芸能奨励賞」を選定し、団体又は個人を顕彰する事業を実施している。

「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」は、地域伝統芸能の保存と継承によせられた高円宮殿下のご遺徳を後の世に永く伝えるため、地域伝統芸能の保存、継承、活用のすべてに抜きん出た功績の認められる団体又は個人を表彰する制度として当財団が平成15年度に創設したものである。

また、「地域伝統芸能大賞」は、多年にわたり、地域伝統芸能等の活用を通じ、観光の振興や地域の商工業の振興に顕著な功績があったと認められる団体又は個人を表彰するため、当財団が平成5年度に創設したものである。

さらに、「地域伝統芸能奨励賞」は、その地域に伝わる伝統芸能を受け継ぐため、日頃研鑽と努力を重ねている将来有望な新人等を発掘し、奨励するため、平成14年度に創設したものである。

平成22年度の受賞者の選考のため、2月2日に有識者、専門家からなる「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等選考委員会」を開催し、平成22年度の受賞者を決定した。

平成22年度の受賞者選考に当たっては、都道府県・市町村、マスコミ関係者、日本商工会議所、日本商工会連合会等から候補者の推薦をお願いし、高円宮殿下記念地域伝統芸能賞及び地域伝統芸能大賞の候補624団体・個人、地域伝統芸能奨励賞の候補90団体・個人の中から、受賞者が選定された。

(高円宮殿下記念地域伝統芸能賞)

早池峰神楽保存会(岩手県花巻市、早池峰神楽の保存、継承、振興)

早池峰神楽は神楽の中でも卓越した技量を有しており、後継者不足という危機的な状況を乗り越えて、後継者の育成に努め、今日まで受け継がれており、平成21年9月には国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産の代表一覧表にも記載され、地域文化の活性化や観光の振興に大きく貢献している。

（地域伝統芸能大賞）

- ・保存継承賞（地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人）
魚津たてもん保存会（富山県魚津市）

- ・活用賞（地域伝統芸能を活用した行事の実施主体）
新居浜市太鼓祭り推進委員会（愛媛県新居浜市）

- ・支援賞（衣装、用具等の製作、人材の確保に係わる団体又は個人）
田中 常治（「龍踊り」の龍体の製作、長崎県長崎市）

- ・地域振興賞（観光又は商工の振興に特に顕著な貢献のあったもの）
新潟市民謡連盟（新潟県新潟市）

（地域伝統芸能奨励賞）

福田 廣平（民謡の歌唱、保存育成等、岩手県盛岡市）

受賞者の表彰式は、9月25日、新潟県新潟市で開催された「第18回地域伝統芸能全国フェスティバルにいがた」及び「第10回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会にいがた」の開催記念式典において、高円宮妃殿下ご臨席のもとに行われた。また、この大会において受賞者の公演が行われた。

3. 地域伝統芸能団体の派遣等による海外への広報宣伝

政府のビジット・ジャパン・キャンペーン事業の推進を図るため、観光庁のV J C事業に応募し、海外からの旅行関係者・マスコミ関係者の招請、アジアの国・地域への伝統芸能団体の派遣を実施し、地域伝統芸能等の海外への広報宣伝に努めた。

(1) 我が国の伝統芸能等を活用した国際交流プロモーション事業

期 日 : 平成22年9月24日(金)～28日(火)

・日本各地の地域伝統芸能が一堂に会する全国大会の機会を捉え、中国、香港、台湾、韓国の国・地域から旅行関係者11名、観光関係マスコミ9名、計20名を招請し、地域伝統芸能を活用した訪日外客誘致活動を実施した。

・新潟市での地域伝統芸能全国フェスティバルの見学、新潟県を中心とする観光地(新潟市内、佐渡市、越後湯沢等)の視察・取材、伝統芸能・工芸体験、訪問先での観光・宿泊施設関係者や旅行会社との間での訪日旅行促進のための意見交換会・商談会を行った。

・帰国後、参加したマスコミによって訪日観光紹介記事が掲載されるなど新潟県など越後地域の観光魅力の情報発信や旅行商品造成の多様化を推進した。

(2) 我が国の伝統芸能を活用した日韓青少年観光交流促進事業

期 日 : 平成22年9月30日(木)～10月3日(日)

・日韓青少年の文化交流を通じて、教育旅行等青少年を中心とする訪日旅行の促進を図るため、日本の高校の伝統芸能団体(青森県、鳥取県、熊本県の3団体、計44名)を韓国ソウル市に派遣し、両国の生徒による伝統芸能の交流公演等の事業を行った。

・派遣した3団体は、日本に興味を持つ韓国の高校3校を訪問し、伝統芸能の交流公演を実施し、その後、日本側生徒と各高校

の生徒との間で、青少年相互交流などをテーマにして意見交換を行い、青少年の交流を深めた。

- ・派遣した3団体は、ソウル市庁舎前広場で開催された「日韓交流おまつり2010 in Seoul」に参加し、公演を行い、来場した多数の韓国市民の方々に伝統芸能を通じて日本の多様な文化と魅力を伝えた。また、会場内に観光宣伝ブースを設営し、参加団体の地元の観光資源紹介と訪日外客誘致活動を実施した。

(3) 我が国の伝統芸能を活用した日本・香港青少年観光交流促進事業

期 日 : 平成22年11月10日(水)～14日(日)

- ・重点市場12カ国・地域のうちでも大きな伸びを示している香港からの訪日旅行促進を図るため、花笠踊り(山形大学、山形県立保健医療大学)、八ツ鹿踊り(宇和島市役所)の青少年伝統芸能団体を香港に派遣し、伝統芸能の公演等の事業を行った。

- ・派遣した団体は、香港理工大学と香港城市大学の2校を訪問し、公演を行い、また、公演終了後、訪問先において、参加団員と現地の大学生との間で意見交換を行い、青少年の交流を深めた。

- ・多くの来訪者で賑わうショッピングセンター2ヶ所で、香港市民を対象に公演を行い、あわせて、会場において日本各地と山形県、愛媛県の観光紹介を行うなど、香港からの訪日外客誘致活動を実施した。

- ・旅行会社向け観光セミナーとして、市内ホテルにおいて香港の旅行会社、観光関係マスコミを対象に訪日観光説明会を実施し、あわせて、花笠踊り及び八ツ鹿踊りの実演を行い、訪日観光旅行のプロモーションを実施した。

(4) 地域伝統芸能を活用した海外イベント等への協力

- ・海外で開催される国際イベント等に関して関係者から、日本からの地域伝統芸能団体の出演依頼等の相談が寄せられ、当財団のノウハウを活用して協力を行った。

4. 地域伝統芸能等に関する情報の収集及び提供

(1) DVD「日本のまつり— 四国編 —」の制作及び図書館等への寄贈

当財団では、財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて、全国の伝統芸能行事やお祭りに関する情報をDVD「日本のまつり」に取りまとめ、情報を全国に発信し、広く一般の方々に紹介することにより、お祭りが開催される地域への国内旅行を促進し、地域の活性化を図る活動を実施している。

これまで、平成16年度に東北編、17年度に九州・沖縄編、18年度に東海編、19年度に中国地方編、20年度に信越・北陸編、21年度に近畿編を制作し、全国の主要公立図書館、地方自治体の公共施設等に寄贈している。

平成22年度は、第7弾として、四国地方の徳島県、香川県、愛媛県、高知県に伝承される春夏秋冬の祭り12件を収録した「日本のまつり—四国編—」を制作し、全国の主要公立図書館等の公的機関約1800カ所に寄贈した。

配布先からは、貴重な資料として広く来館者（地域住民）の利用に供し、活用したい旨のお礼の連絡をいただいた。

(2) ホームページを通じた情報提供

当財団のホームページについては、日本の主な地域伝統芸能の紹介に加え、22年9月に新潟県新潟市で開催した地域伝統芸能全国フェスティバル・まちづくり大会の報告や、上記「日本のまつり—四国編—」の紹介を掲載するなど、新たな情報の提供に努め、内容の改善、充実を図った。

また、次回の全国大会の開催地である青森市等で平成23年2月に開催された「平成22年度全国商工会議所観光振興大会 in 青森」を紹介し、開催に協力した。

5. 地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び地域商工業の振興に関する調査

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の発生後、全国各地で予定されていたお祭りの実施を自粛する動きが広がり、マスコミ等で大きく取り上げられた。

このため、当財団は、地震発生直後から、各地の祭りの中止の動きについて地元自治体の観光部局、観光協会、商工会議所等の関係者への聞き取りなどの調査を実施した。また、調査で得られた各地のお祭りの実施状況等について観光庁など国の機関にも情報を提供した。

6. 地域伝統芸能等を活用した行事の支援

(1) 東日本大震災への対応

平成23年3月11日の東日本大震災の発生後、当財団には各地の祭り関係者からお祭りの実施に関する相談が寄せられた。これに対応して、当財団は、各地のお祭りの実施状況について情報提供を行うとともに、過度な自粛につながらないようにお祭りの実施に向けた助言を行った。

(2) 各地のお祭りイベント開催への協力

貴重な地域伝統芸能やお祭りを全国に紹介し、観光振興や地域の商工業の振興を通じて地域の経済発展に寄与すること等を目的に開催される各地のお祭り（ふるさと祭り東京2011、岩手・北上みちのく芸能まつりなど6件）に対して後援名義の使用承認を行い、開催に協力した。

また、22年5月の浅草三社祭BS番組において「日本の祭り文化」の紹介コーナーが設けられた。当財団は、出演団体の募集に協力し、全国各地から10のお祭りが「日本のお祭り宣伝隊」として出演した。

Ⅲ.総務関係事項

1. 基本財産等の状況

①平成22年度末における基本財産	593,060千円
②平成22年度末における運営強化資金(基金)	300,000千円
内 訳 日本財団	(300,000千円)
①と②の合計	893,060千円

2. 賛助会員の状況

45 (団体43、個人2)

3. 会議の運営状況

①平成22年度 第1回 通常理事会、評議員会

平成22年6月3日(木) 14時00分～15時00分 評議員会
15時00分～15時15分 理事会

[審議事項]

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 平成21年度事業報告及び決算 |
| 第2号議案 | 基本財産等の管理運用状況 |
| 第3号議案 | 平成22年度補助金等の受入れ及び平成23年度補助金等の要求 |
| 第4号議案 | 評議員、理事の異動 |
| 第5号議案 | 平成23年度の「地域伝統芸能全国フェスティバル」、「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会」の開催地の決定 |
| 第6号議案 | その他 |

②平成22年度 第1回臨時評議員会・臨時理事会

平成22年7月29日(木) 11時30分～11時45分 臨時評議員会
11時45分～12時00分 臨時理事会

[審議事項]

- 第1号議案 議長の選任
- 第2号議案 議事録署名人の選任
- 第3号議案 理事・評議員の異動

③平成22年度 第2回 通常理事会、評議員会

平成23年3月18日(金) 14時00分～14時50分 評議員会
14時50分～15時15分 理事会

[審議事項]

- 第1号議案 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)
- 第2号議案 平成23年度補助金等の受入れ
- 第3号議案 評議員の選出、理事の選任
- 第4号議案 公益法人制度改革について
- 第5号議案 その他

4. 公益法人制度改革への対応

当財団は、公益法人制度改革への対応に関して、平成22年度第2回通常理事会、評議員会において、一般財団法人に移行することとしたいこと、移行に関する機関決定については次回開催される通常理事会、評議員会において予定したいことを提案し、了解された。

5. 東日本大震災への復興支援

平成23年3月11日に発生した東日本大震災への復興支援として、公益財団法人日本財団の「東日本大震災基金」に対して寄付を行った。